

いま、求められている職種のひとつ作業療法士

同じリハビリテーション職である理学療法士が全国で約20万人いるのに対し、作業療法士はその半数の約10万人。新たに誕生する作業療法士も、毎年5,000人弱ずつの増加に留まっています。人生100年時代、そして超高齢社会と言われる世の中で、作業療法士を必要とする患者さんは増え続けており、これからの将来、日本だけでなく世界中で作業療法士の活躍がますます期待されています。

1位 レクリエーションセラピスト

2位 メカニック

3位 危機管理責任者

6位 **作業療法士**

AIやロボットに変わることができない仕事のランキングで、作業療法士は第6位に選ばれました。

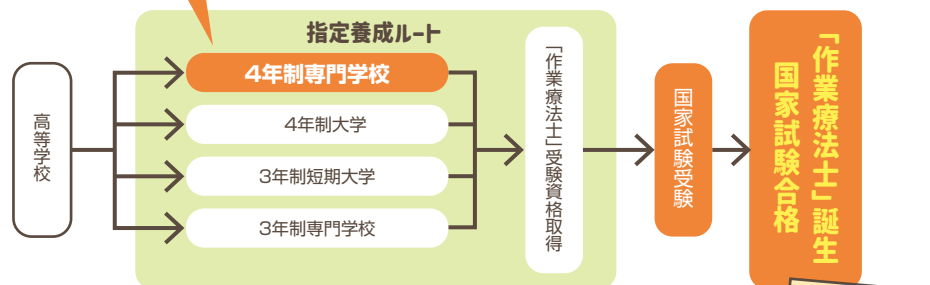
出典：THE FUTURE OF EMPLOYMENT: HOW SUSCEPTIBLE ARE JOBS TO COMPUTERISATION? : Carl Benedikt Frey and Michael A. Osborne, 2013

広がる活躍の場、時代は作業療法士の誕生を待ち望んでいます

- 医療施設** 総合病院、クリニック、リハビリテーション病院、精神科病院、療育センター など
- 介護施設** 介護老人保健施設、デイケアセンター、訪問リハビリテーション事業所 など
- 福祉施設** 児童発達支援センター、放課後等デイサービス、就労移行支援事業所 など
- 教育機関** 特別支援学校、地方自治体、作業療法士教育機関（大学、専門学校） など

国家資格取得のための一般的なコース

卒業時「高度専門士」の称号が付与される4年制専門学校の場合、大学院入学資格も取得できます!



作業療法士についてもっと知りたい方へ

作業療法ってなに?

オーティクんと学ぶ作業療法見学ツアー
(日本作業療法士協会ホームページ内)



まずは職業体験してみませんか?
オープンキャンパスで体験
できます!



詳細
お申込みは
こちら

学校情報は
各種SNSにて
配信!

2022年度国家試験合格率100%のヒケツは...?!▶



[吉田学園入学相談室] 0120-607033(受付 9:00~17:30)

心とカラダの リハビリテーション 作業療法士



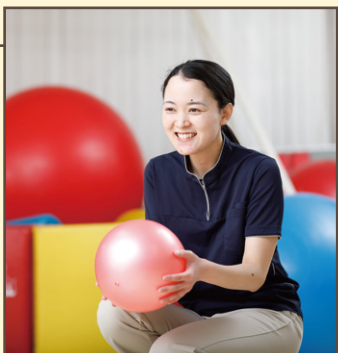
厚生労働大臣指定 専門学校北海道リハビリテーション大学校

●理学療法学科 [4年制] ●作業療法学科 [4年制] ●言語聴覚学科 [3年制]

札幌市中央区南3条西1丁目15



作業療法士 Occupational Therapist



発達障がい分野

ADHD (注意欠如・多動症)
自閉スペクトラム症
学習障害 など

例： 集団活動が取りにくいなど
苦手なことの改善

遊びを通して感性やお友だちとの
交流の気持ちを育て
社会性が育つように支援



身体障がい分野

脳梗塞、心疾患
くも膜下出血、がん
脊髄損傷 など

理学療法士も同じく担当する
分野で、目標の実現に必要な
動作の改善や補助具の
使用方法の指導・訓練を行
います。

「作業」とは…?
**家事・スポーツ・趣味など
日常の生活動作すべて!**

「作業」を通じて
人々の健康や幸福を促進することが
作業療法の重要な役割です



子どもから高齢者まで 日常生活に手助けを必要とする
すべての人が作業療法の対象です。

患者さんに寄り添い「自分らしい」生活の実現を
そばで支える作業療法士。

「誰かの役に立ちたい」そんな思いをもつ皆さん!
目指してみませんか?

精神障がい分野

うつ病、統合失調症
依存症、双極性障害 など



老年期障がい分野

認知症、廃用症候群
骨関節疾患 など



福祉用具を利用し
趣味や生活を
楽しむ練習



生活しやすい
環境づくりの
援助



作業療法士をめざすことにした私のStory

職業体験で出会いました!

家族が医療従事者ということもあり、以前から医療関係の仕事に就きたいと考えていました。そんな中、お仕事体験を通して作業療法士という職業に出会いました。

いまは、パーキンソン病など神経難病の患者さんと関わり、親身になってリハビリできる作業療法士になることが目標です!



作業療法学科
綱島 大仁さん
札幌厚別高等学校出身

私も患者さんを笑顔にしたい!

中学生の頃、老人ホームへ行く機会があり、作業療法士の方と話していた患者さんが笑顔になっていたことが印象的で「私も誰かを笑顔にしたい!」と憧れを抱いたことがキッカケ。将来は、1人でも多くの患者さんが笑顔で安心して生活することができるような作業療法士を目指しています!



作業療法学科
秦野 夏鈴さん
市立札幌新川高等学校出身

教員からのMessage

作業療法は、対象者の「日常生活」を改善するために、身体機能、精神心理機能、環境に幅広くバランスよく支援していくリハビリテーションです。対象者ご本人が望む生活行為を改善し、生活の質(QOL)の向上を目指します。望む事が出来るようになり、対象者の笑顔を見られた時の喜びは何にも代えがたいものです。さらに、医療福祉分野では、今後ますますQOLの向上が重要になっていき、作業療法士の活躍が期待されています。



作業療法士
目黒 文彦先生